

## 「光の道」構想に関する意見

意見提出元	個人
意見項目	意見内容
<p>1. 超高速ブロードバンド基盤の未整備エリア(約10%の世帯)における基盤整備の在り方についてどのように考えるか。</p>	<p>私は医学部生です。 光の道構想に興味があり意見を提出させていただきます。</p> <p>医療関係者の中にはITを活用した僻地医療などを進めるべきとの意見があります。 私もその意見に賛成です。 しかし、そのインフラが光ファイバーでなければならないとは思いません。 あくまでもITを活用した治療を実現することが目的なのですから、最短でそれを実現できる手段をコストを抑えながら進めることこそが最も大事なことだと私は考えます。</p>
<p>2. 超高速ブロードバンドの利用率(約30%)を向上させるためには、低廉な料金で利用可能となるように、事業者間の公正競争を一層活性化することが適当と考えられるが、NTTの組織形態の在り方も含め、この点についてどのように考えるか。</p>	<p>他の産業同様、今日の市場は世界規模で捕らえていかなければ、将来はないと考えます。</p> <p>楽天やファーストリテイリングという成長企業が英語を社内公用語としていることなどはまさに市場を世界に見出していることの表れかと思えます。</p> <p>通信業界がガラパゴス化しないためにも、世界的な競争力を養うことが必要です。</p> <p>NTTを弱体化させることで他企業の力を相対的に強めることは、逆に日本の経済成長にとっては大きなマイナスとなることは火を見るより明らかです。</p> <p>ブロードバンド整備は生来の通信業者のみならずCATVや電力業界も参画しており、規制ではなくオープンな競争ルールでサービス競争によって利活用を進めることが健全な成長政策であると思えます。</p>